

編集後記

米田先生の結びに、オスカーワイルドの言葉が引用されているが、確かに「経験とはその人の失敗の歴史である」。人生は失敗を繰り返さぬよう努力することが進歩でもあるが、医療において少なくとも表面的に失敗が許されないところが厳しさでもある。理学療法士、作業療法士の行う治療行為の専門性ということで自問自答する必要性が大になって来たこの頃であるが、資格のない人が治療した方が患者の経過、進歩にあきらかな変化がみられ、資格のある人が治療すると命令調であるために患者が治療を拒否するという事実も少なくない。少なくとも素人がみてもさすがに RPT、OTR は違うなあという治療の内容と専門性が欲しいものである。

今回の特集テーマは整形外科である。整形外科では昔から後療法という感覚が強かったために拘縮や筋力の低下の予防というよりも人為的（医原的）に起こしたものを矯正するという感覚の整形外科医がまだまだ数多く存在する。国公立の医科大でリハビリテーション講座が独立出来ない理由の1つは、他科に対する PR 不足、政治的働きかけの不足もあろうが、整形外科系の教

授の積極的な応援がないのが不思議である。

米田論文「小児骨折の応急手当、留意点」は是非覚えておいて戴きたい点が多い。森論文「引き抜き損傷の機能再建術」では経験豊富な著者らにより教科書的にがっちりまとめている。角論文の「上肢外転挙上における肩甲骨の運動解析」は回旋と移動運動に区分されている点がユニークである。浦辺論文はこれから増えるであろう膝関節損傷の患者の訓練に参考になる点が多い。辻井論文の「痛みとモビライゼーション手技」は実技を欲している方には理解困難かもしれないが、それなりの理論が展開されていて興味を持たれる。

その他、大橋・梁瀬両先生による講座も充実した論文である。

御多忙のなか御執筆戴いた先生方には深謝あるのみである。

この雑誌も一つの型にはまらないで色々な視点より理学療法・作業療法に貢献をと念じているので是非御希望・御意見を編集部まで御寄せ戴きたい。

思い出に残る素晴らしい夏を過されますように……

(荻島 秀男)

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五 味 重 春
東京都立医療技術短大学長

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院名誉院長

津 山 直 一
国立身体障害者リハビリセンター病院長

(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
ペインリハビリテーションクリニック 高島平
整形外科

大喜多 潤
兵庫県リハビリセンター

寺 山 久美子
東京都立医療技術短大

富 岡 詔 子
信州大学医療技術短大

奈 良 勲
金沢大学医療技術短大

福 屋 靖 子
筑波大学

松 村 秩
東京都立医療技術短大

<編集同人>

池 松 洋 子

伊 東 元

岩 崎 テル子

宇都宮 初 夫

金子 誠 喜

鎌 倉 矩 子

木 村 信 子

菊 地 延 子

小 嶋 裕

斎 藤 みち子

鈴 木 明 子

高 橋 正 明

田 口 順 子

橋 元 隆

古 川 宏

松 沢 博

宮 崎 和 子

宮 前 珠 子

山 田 貞 雄

矢 谷 令 子

理学療法と作業療法

(第20巻 第7号)

1986年7月15日発行(毎月1回15日発行)

1 部定価 1,250 円(配送料60円)

(年ぎめ予約購読料 15,350円)
(ただし、特別増大号を含む)
(送料弊社負担)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 椿 孝雄

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5703

(担当: 西塚・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

広告室直通 (03) 817-5696

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 榊学術図書印刷 電話(03)814-4961

広告申込所 榊医薬広告 電話(03)814-1971

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1986,

Printed in Japan

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。